

堂山の歴史

いま堂山町があるこの場所は、もともと海の底でした。とってもしじめじめした場所で生活には適していなかったんです。そんな住みにくい場所に9世紀頃から、「免春をす人」「船頭」「職人」「古い師」など、差別されていた人々が移り住みます。また、亡くなった人々の遺体が持ち込まれボイボイと打ち捨てられ、野ざらしの状態で見捨てられました。今の堂山町から曾根崎にかけての場所は、千年以上にわたってあの世とこの世をつなぐ場所だったのです。ここに住む人々は「人」よりもむしろ「神」に近いと考えられました。「セックス」「差別」「死」という人間の営みが「神」と一体になる場所、歴史家はそれを「神が人を喰う」と表現します。

そもそも、この場所をなぜ「堂山町」と言うのでしょうか?「大阪府地名大辞典(1983)」を見ると、堂山の語源は「太融寺のお堂」と書かれているんです。太融寺のお堂が山のように大きかったので「堂山」と称するようになった、ということなのです。ゲイバーでよく聞かれる都市伝説に「堂山」って昔は死体がゴロゴロある場所で「崩山」って書いたらしいよ。だから幽霊が出るんだって」というのがありますが、事実としては正しいけど、語源は「太融寺のお堂」なんです。

なぜ堂山町っていうの?

あの世とこの世をつなぐ場所ー堂山ー

現在の堂山へ

明治時代になって西梅田がきれいな繁華街として開発されるのは対照的に、堂山は中世のイメージのまま、社会の中はぼろぼろと空いた穴のよりの開発から取り残れます。そのような中、監獄が作られ(現・扇町公園)、風俗店が次々と営業をはじめ、バナナホールが開業し、ゲイバーやパチンコ場にたくさんの人々が訪れるようになります。「時間が止まったみたい」「はじめめている」「欲望の街」「化け物みたいな人がいっぱいいる」……良くも悪くも堂山は中世のままなのです。それらを「いやなもの」「過去のもの」と捉える人もいます。でも一方で、それは多様な人々が混じりあい、様々なながみから逃れることのできる自由な場所でもあるとも言えるのではないのでしょうか。

ところでみなさん、堂山のコンビニエンスストア「ポプラ」前に石でできた大黒様があるのをご存知ですか?伝承では遊郭街であった曾根崎新地にお祭りしていた大黒様をこの地に移したとされています。曾根崎も堂山も共に古くから芸能やセックスワーク、生と死が渾然一体となったひと騒ぎの場所でした。大黒様は、今は忘れられてしまった、そんな曾根崎と堂山の深いつながりのなごりなんです。

ポプラ前の大黒様



TEACH フェイシャルケアって...? 教える、兄貴!! 第4回

CRUISING THE GAY MASH どのもあふしがびす。エロが大好き。 70 CRAZY NIGHT~本能のままに~

LIFE ポジ・ネクスト・ドア 「HIV陽性者」としても、感染が明らかになったときも状況は様々で、日々感じることや思ふことももちろん千差万別。単にひとりにはできないそれぞれの「ポジティブライフ」をアンケート形式で公開します。

HUMAN 今月の「顔」 vol.18 アーサー

EAT 堂山やミナミから歩ける範囲にあるオモロイところ、オシャレお店を訪問するコーナー

DICTIONARY STIミニ辞典 ウイルス・病気編 その参 HIV

TOPIC 知っとこ! セックスライフと健康をめぐるホットな情報

「SaL+」は、MASH大阪が定期的に発行するコミュニティバーです。SEX and LIFEの頭文字を取って、それに少し付け加えて「+」

堂山から一番近いグルメタウン。天満市場界隈、環状線天満駅と都島通のあいだ、天神橋筋商店街の東側に広がる一帯のなんともいえないディープかつゆる〜い雰囲気はどこから来るのか。調べてみたことがある、とあつちの結論は「よくわかんないけど、古くからある路地、クルマが通らないから」、市場に近いからとってやってみよう(?)のたすと、戦後まんなかの開港ミニニエティが21世紀都市社会のモデルに大化けしたのかも、ですね。それはともかく、久しぶりにこの界隈に足を踏み入れてみると、ディープかつゆる〜い雰囲気や賑わいを増幅させているお店が次々出てくる。一層の速いも速く飛び込んでしまいたい。場所は以前ご紹介した「luv wine」のちようど路向い、スタイルもよく似て、<luv wine>がガンゴのBGM

MASH大阪が調べた結果では、大阪のゲイ・バイセクシュアル男性で、HIVに感染している人は大雑把に言って100人に2〜3人。HIV感染率は、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)と呼ばれるウイルスに感染している状態を言います。HIVに感染すると完全に体内から除去することは出来ませんが、早期に発見・治療することで、いろいろな症状が起こることをいとめることができます。

「ナルセックス相ローション」が発売されました! 今回のテーマは「ナルセックス相ローション」が発売されました!

「SaL+」は、MASH大阪が定期的に発行するコミュニティバーです。SEX and LIFEの頭文字を取って、それに少し付け加えて「+」健康なセックスライフに役に立つ情報や、街の情報を発信していければと思っています。お店やショップで見かけたら、ぜひ手に取ってみて下さいね!!